

## 近所や地域の方々と

# 共に助け合う町に

地域には、高齢の方や、障がいのある方など、様々な人が暮らしています。もしものとき、そんな人々に手を差し伸べ伸べる力が「共助」です。

【問合せ先】 社会福祉課 ☎029(240)7112



### 「いざいざ」

災害は、突然やってきます。大規模災害が発生したとき、人命を救うために重要なのは、行政と住民、住民と住民が助け合う「自助・共助・公助」です。

「自助」とは、自分自身が考え行動すること。しかし、もし自分一人では行動が困難になり、行政による「公助」を待つことも難しい状況に迫られたとき――。

そこで重要視されるのが「共助」です。地域が一丸となって協力し合うために、私たちができることは何でしょうか。

### ■災害時に特に支援が必要な人

災害から身を守るためには、災害情報を知り、避難が必要なのかを判断し、安全な場所へ逃げるのが大切です。

しかし、高齢者や障がい者の中には、情報が伝わりにくい方や、状況の判断がしにくい方、安全な場所へ移動することが困難な方など、周りの人の支援を特に必要としている方がいます。

### ■地域のつながりが力になる

大規模な災害が発生し、助け合いが必要となったときに大切になるのは「地域のつながり」です。日頃のあいさつや、行事への参加などを通して、お互いの距離を縮めることにより、災害時に特に支援が必要が高齢者や障がい者などが「どこにいるのか」「どんな支援を必要としているのか」を知り、対策をとることが求められています。

### 過去の災害から見てきたこと

令和元年10月、日本各地に記録的な大雨をもたらした台風19号及び豪雨災害。町でも、避難所を開設するなどの対応を迫られました。

この災害時、一人暮らしの高齢の方・重度障がいのある方からは、「避難をしたくても、どのように避難すればいいかわからない」「身体が思うように動かない」などの声を聞きました。

### インタビュー

#### 地域の力を目に見える形に



中丸原区長 浅川 武さん  
「中丸原区自主防災会」会長

矢頭中丸原区では、平成31年4月より「中丸原区自主防災会」を設立し、区民だよりなどを通して、日頃から「共助」につながる防災意識の啓発を行っています。

区でこうした「共助」の取り組みを進めたきっかけは、東日本大震災の経験です。避難所が遠く、思うように動けなかった高齢者の方などを支えるためには、まず地域の防災意識を高め、いざというときのネットワークを作ることが重要だ、と考えようになりました。

## 円滑な避難支援と安否確認につなげるために 避難行動要支援者名簿の活用を

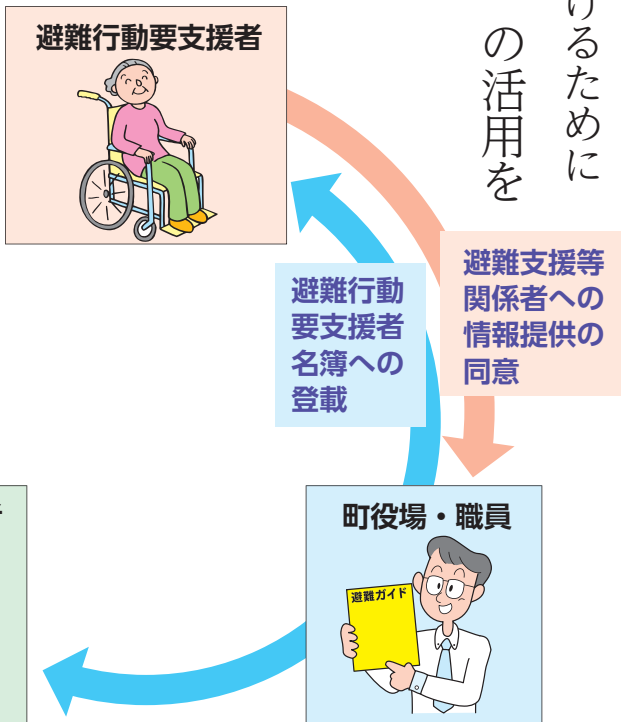
町では、「避難行動要支援者支援制度」による取り組みを進めています。この制度は、避難行動要支援者（高齢者や障がい者等のうち、災害時に支援が必要な方）と地域の人たちがつながることを目的としています。町は、避難行動要支援者の名簿を作成し、本人の同意を得て、避難支援等に携わる関係者に名簿を提供します（対象の方には、2月下旬に通知済みです）。

これにより、各地域において「災害時に支援が必要である」ということが、相互に共有され、避難支援や安否確認などの手助けをしてもらえる可能性を高めることができます。避難行動要支援者支援制度の対象となる方は、社会福祉課（3番窓口）にて申請を受け付けております。

### 避難行動要支援者支援制度の対象となる方

自ら避難することが困難で、次の要件に該当する方

- ・65歳以上のひとり暮らしの高齢者の方
- ・65歳以上の高齢者のみの世帯の方
- ・介護保険被保険者証の要介護状態区分が要介護3以上の方
- ・身体障害者手帳1・2級に該当する方  
(心臓・じん臓機能障害のみで該当する方は除く)
- ・療育手帳A・Aをお持ちの方
- ・精神障害者保健福祉手帳1・2級をお持ちの方
- ・町の生活支援を受けている難病患者の方



- 日頃の見守り  
災害時の支援
- ・自治会や行政区等の公共的団体
  - ・民生委員児童委員
  - ・町社会福祉協議会
  - ・町地域包括支援センター
  - ・町職員
  - ・町消防団
  - ・警察

### 避難行動要支援者名簿の提供

その足掛かりとして、令和元年11月には、町総務課の職員を招き、区民に向けた防災講話を開催してもらいました。また、中丸原区では、移動が難しい独居高齢者や障がいのある方などが迅速に避難できるように、最寄りのグループホームと独自に相互支援協定を結び、区の住民が災害時に避難できるように協力することを取り決めています。

今後は、地震などの災害以外にも、近年頻発している台風や大雨による水害への対策として、土のう作りやAED操作講習などを実施していきたいと考えています。

区民全員が誰一人として孤立しない地域づくりを目指して、防災会は設立されました。今は、地域の方と共に育てていく段階です。住民の皆さんが安心できるように、今後も「共助」の輪を広げていきたいと思っております。

### 避難行動要支援者名簿 Q&A

- Q 70歳の私と50歳の息子の2人暮らしです。息子は日中働きに出ています。私でも利用できますか。  
A 利用できますので、お申し込みください。
- Q どのような方が支援してくれるのですか。  
A ご近所の方が支援者となります。日頃からご近所で連絡を取り合うなど、交流に努めてください。
- Q 今はまだ心配ないけれど、この先利用したいときが来るかもしれません。  
A 利用の申し込みはいつでも大丈夫です。